

## 2018年10月20日の演奏会に関するお詫びとご説明

平素より新日本フィルハーモニー交響楽団に対し、多大なご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

去る10月20日開催の定期演奏会におきまして、演奏中に一人のお客様が大きな声を出され、他のお客様に不快な思いをおかけする事態が発生いたしました。

本件につきまして心よりお詫びを申し上げますと同時に、その背景につきご説明をさせていただきます。

今回声を出されたお客様は、私どもからご招待をさせていただいた方々の中のお一人です。私どもは、昨年より墨田区様と協同で始めさせていただいた「ふるさと納税」により頂戴した寄附金を原資に、「音楽の力でまちと人を元気に」というプロジェクトを実施しております。その中の取り組みの一つとして、普段なかなか気軽に音楽に触れる機会のない方に新日本フィルの演奏会のチケットをプレゼントしております。対象は首都圏・全国の中高生、インターナショナルスクール生、日本語学校生、医療・福祉・介護の施設の利用者、外国人観光客及び在住者等多岐に渡り、多くの方々から感謝の言葉をいただいております。昨年は延べ1875名の方々にご来場いただきました。

一方でこれらの方々をお呼びする際の「マナー」については、事前の注意喚起等配慮したつもりではございましたが、結果的に今回の事態に至り、お客様より賛否様々なご意見を頂戴いたしました。これを受け、当団事務局内で真摯に議論を重ねてまいりました。

その結論として、私どもといたしましては上記の趣旨による活動全体は踏襲しつつ、まずはお客様に「十分な環境でコンサートを楽しんでいただくこと」を尊重し、ご招待の範囲をより絞った形で今後の対応をさせていただきたいと考えております。

本件につきましては今後も皆様よりご意見を頂戴しつつ、より充実した演奏活動を継続してまいります。

今後とも新日本フィルハーモニー交響楽団をよろしくお願ひ申し上げます。

公益財団法人

新日本フィルハーモニー交響楽団